

2021年5月

お客様各位

セコム株式会社

AED（自動体外式除細動器）「AED3100シリーズ」
バッテリー管理に関するお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、お客様にご利用いただいておりますAED3100シリーズ（AED3100、AED3150、AED3151）について、製造元の日本光電工業株式会社より「バッテリー管理に関するお知らせ」（添付別紙）が届きましたので、ご案内申し上げます。

通常の使用状況であれば、取扱説明書に記載されている管理で問題なくご利用いただけますが、特定の使用状況（1週間に1回程度以上、或いは連続で1時間30分程度以上、本体のフタを開けて使用）において、バッテリー残量が少ない場合（以下※）には、ごく稀にバッテリー内部の安全機構が早期に機能して、電源が切れるおそれがあるとの報告です。

※AED3100シリーズでは、取扱説明書に記載されているとおり、バッテリー残量が少ない状態（左から2番目のランプのみが緑色に点灯）の場合は、バッテリー交換が必要です。

そのため改めて、バッテリー残量が少ない状態の場合は、速やかに弊社へご連絡いただきますようお願い申し上げます。

AEDの管理について何卒ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

【AED3100シリーズ外観】



【お問い合わせ窓口】

セコムカスタマーセンター AED担当
0120-756-771
(24時間 365日)

以上

自動体外式除細動器 AED-3100 シリーズ

バッテリー管理に関するお知らせ

※対象製品：AED-3100/3101/3150/3151

謹啓 平素は格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このお知らせは、弊社が製造販売する自動体外式除細動器 AED-3100 シリーズ（以下、本製品と記す）をお使いいただいているお客様へ、本製品の機能を十分にご活用いただき、引き続き安心してお使いいただけるよう、取扱説明書の記載内容を改めてご案内させていただくものです。

本製品は、「左から2番目のランプのみが緑色に点灯しているとき、または1番左のランプが赤色に点灯しているとき」は、バッテリーパックの交換が必要です。月に1回の点検や救命活動でのご使用の後には、バッテリー残量をご確認の上、適切に交換いただきますようお願い申し上げます。

これは、ごく稀にはありますが、特定の使用状況（1週間に1回程度以上、或いは連続で1時間30分程度以上フタを開けて使用）において、バッテリー残量が少ない状態（左から2番目のランプのみが緑色に点灯）でバッテリー内部の安全機構が早期に機能し、起動中に装置の電源が切れる可能性があるためです。

なお、本装置のバッテリーは、救命活動に使用していない条件で、月一回のお客様による点検実施の他、取扱説明書に記載されている方法で管理されている条件において、左から2番目のランプのみが緑色に点灯している時点で待機寿命4年となるように設計されております。このため、前述のバッテリー交換によって待機寿命が短くなることはありませんのでご安心ください。

AED を管理・ご使用いただく際には、取扱説明書や医療機器添付文書を必ずご一読いただきますよう、お願いいたします。今後も品質向上に努めて参りますので、引き続きのご愛顧を賜りますよう、何卒宜しく
お願い申し上げます。 謹白

【取扱説明書に従ったバッテリーパック交換のお願い】

本製品は、取扱説明書にてご案内のとおり「左から2番目のランプのみが緑色に点灯しているとき、または1番左のランプが赤色に点灯しているとき」（下図）は、バッテリーパックの交換が必要です。バッテリー残量が少ない（緑1個及び赤1個）状態は、稀にバッテリー内部の安全機構が早期に機能することがありますので、お早目の交換をお願いします。

バッテリー残量をご確認の上、適切なバッテリー管理をお願い申し上げます。



図：バッテリーパックの交換が必要なときのバッテリー残量の表示

弊社担当

日本光電工業株式会社
技術開発本部医療機器技術開発部
技術戦略本部